



埼玉会だより

日退協

©

埼玉会の下期活動について



埼玉会代表幹事 石井 憲

埼玉会会員の皆様には、新型コロナによる厳しい状況の中にもかかわらず、お元気にお過ごしのことと推察いたします。

やむを得ない事情とはいえ、上期は埼玉会の活動を自粛してまいりました。日退協の使命の一つである『生きがいづくりの場』を提供することができなかったことについて、幹事会としても心苦しい気持ちでいっぱいあります。

直近の感染者数をみますとまだまだ収束には程遠い状況ですが、ピーク時を脱したように思えます。

埼玉会の下期の活動は埼玉会・新型コロナ感染症対策ガイドに基づき、感染防止の徹底を図りながら、安心・安全をモットーに計画している行事・イベントを着実に実行して参りたいと考えております。

楽しい・役に立つ埼玉会を目指し幹事会一丸となって努力いたしますので、埼玉会会員の皆様のご支援・ご協力を今後ともお願い申し上げます。

〈埼玉会・新型コロナ感染症対策ガイド〉

- (1) 3つの密(密閉・密集・密接)を避け、手洗い、咳エチケットなどの予防対策を実施する。
- (2) 例会、イベント、同好会などの運営に当たっては、
①3密を避ける ②マスク(フェースガード)着用 ③水分の補給 ④大人数にならないなどを留意する。
- (3) 例会等の会議においては、上記のほか、入室時の消毒、退出時の机・いす等の消毒を行う。

埼玉会イベントのご案内

イベント幹事 菊池正美

今後のイベント予定は次の通りです。イベントごとに詳細なご案内を致します。「参加」希望者は次ページ巻末の事務局まで①e-mailまたは②faxでお申込みください。

1. 2020.3.27(金) 北越谷「元荒川の桜堤」観桜会(第49回)
 2. 2020.6.3(水) 「日光街道・粕壁宿」散策(第50回)
 3. 2020.7.7(日) 「岩槻人形博物館」見学(第51回)
 4. 2020.8.11(火) 「納涼の会」(企画:女子会)
 5. 2020.9.18(金) 「武藏の小京都・小川町」建物巡り(第52回)
 6. 2020.11.18(水) 秩父札所巡り「23番・音楽寺」「24番・法泉寺」(第53回)
 7. 2021.1.8(金) 「初詣・新年会」大宮・氷川神社
 8. 2021.2.17(水) 「岩槻人形博物館」見学 (第54回)
- (注) 1.~5.は「新型コロナ禍」により「中止」となりました。

2020年度埼玉会幹事(世話人)一覧表

役職	氏名	担当業務
代表幹事	石井 憲	統括
副代表幹事	菊池正美	代表幹事補佐、イベント責任者
副代表幹事	関谷一郎	代表幹事補佐、司会、企画・会場設営運営責任者、沿線会責任者
幹事	畠山忠昭	代表幹事補佐、埼玉会だより責任者
	伊藤春江	会計
	薄井 繁	埼玉会だより、詩吟
	大野英明	企画
	倉片厚子	女子会責任者
	小林繁台	書記 イベントリーダー
	白石 崇	イベントリーダー
	高橋 淳	坂戸会責任者
	田中英司	イベントリーダー
	萩埜 孝	ゴルフ同好会責任者
	星 洋一	イベント補佐
	松本 浩	企画
	三野晶代	企画
顧問	関根貞夫	

2020年度は上記幹事がそれぞれの業務を分担し、楽しい、役に立つ埼玉会を目指し、一丸となって取り組みますので、会員の皆さまの今後ますますのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

代表幹事: 石井 憲

「JARP埼玉会＆喜楽な孔球会」コラボコンペ開催

ゴルフ会幹事: 萩埜 孝

9月14日(月)おおむらさきゴルフ俱楽部に於いて「JARP埼玉ゴルフ会と喜楽な孔球会」で初めてのコラボコンペを開催。当日は14名参加、コロナ感染に十分注意し楽しくラウンドすることが出来ました。

競技は新ペリア方式で行い、JARP埼玉会の相吉澤さんがNET「71.6」で優勝。おめでとうございます。

次回以降もコラボコンペを計画致しますので、友人・ご家族をお誘いいただき、気楽にご参加をお待ちしています。



≈埼玉俳壇≈

行く秋や人々が遠く過ぎゆけり

地畠朝子

花言葉

銀杏

堰(ベンネーム)



花言葉は「長寿」「莊嚴」「鎮魂」です。また、「イチョウは復興のシンボル？」と言われているようです。別名「公孫樹」とも言われ、種子から栽培すると、結実までに数十年の時間を要します。樹自体が長寿です。

さて、花はあまり見たことはないのですが有るのでしょうか？ 実は「雄花」と「雌花」があり、花粉を風に乗せて飛ばす風媒花のこと。今様で言えば「リモート花」です。

金色のちひさき鳥のかたちして銀杏(いてふ)

散るなり夕日の岡に】与謝野晶子

大樹となり、並木道等を造り長く親しまれ、その存在感は不動のものがありますが、日退協もそななる様頑張りましょう。

会員の写真作品紹介コーナー

No.9 「長瀬ライン下り」

菊池正美氏 (上尾市)

カヌーを楽しんで一休みの人が、川下り遊覧船を見て何思う？



日退協本部の感染症対策ガイドライン

新型コロナ感染拡大を防ぐため、3密(密閉・密集・密接)を避け、手洗い・消毒・咳エチケットなどの予防対策に万全を期してください。報道によると60歳以上の感染者数や重症者も増加傾向にあります。

日退協の各種委員会と社会貢献事業、イベント事業、同好会、地域会の運営に関して国及び東京都の指導(3密を避ける、マスク着用、水分補充、大人数にならない等適宜判断)に従うも、協会は既存の「はつらつぶれあいの集い」、「チャリティコンサート」事業は年内は行わないものとする。

<本部事務局会議室使用時の注意点>

- ・使用人数は10名以下とする…ただし、それを超える場合は事務局に事前相談のこと(京華スクエア等の借用方法もある。)
- ・使用上の注意…(入室時):マスク着用、(室内):マスク着用かフェイスガードを使用、(退出時):机と椅子はアルコール消毒をする(アルコール・手袋・ティッシュは事務局で用意)
- ★各種委員会会議のオンライン活用も検討方推奨。統括責任者会議ではZoom会議を実験済み。
- ★感染者と濃厚接触した可能性を知らせる厚生省アプリ「COCOA」の利用を推奨。

<事務局>

With・コロナ コーナー!! <第2弾>

依然として収束の見えない「新コロナ」の中、寄せられた会員の皆さまからのエッセイ「第2弾」をご紹介します。

① (関根貞夫) 今年2月で傘壽を迎えるに当たり、1月精密検査をしました。結果は、異状なしで一安心。早速厳冬や早春の写真撮影を企画。家族や友人がお祝いの席を設けてくれましたが、新型コロナウイルスの感染が生活を一変しました。自己防衛と自重し、8月には解消の目途が付くかと考えていたのが、今日までの間経験したことの無い生活を強いられました。パズル(1000P)や数独(超難問)終活整理や読書・公園散歩する程度で自身を慰めていました。10月に入り、三密を守り秋の花の撮影や宿場での御朱印巡りを始めました。

② (小林繁治) 新型コロナ禍によって全く変わってしまった生活時空。いつもなら足を延ばしていた筈の各地のイベント、祭礼、公園、博物・美術・資料館、図書館、セミナー、展示会エトセトラ、何てたって、日退協の各種イベント・会合も中止の嵐。あああひたすら減入る気力に、読書量まで下降線、時間の使い方も能力低下にただただ愕然。こりや遺憾、いや、いかんわい。こんな状況で余命すり減らすは真っ平御免。せめて我が手と我が足を動かして近場の街の小径歩き、探検隊に徹している今日この頃です。たまには意外な発見に驚くことこれあり、少しは気を取り直しています。

③ (石井 憲) 新型コロナの新規感染者数を毎日確認してから一日が始まる、そんな生活にすっかり慣れてしまいました。そんな中、新型コロナに関する様々なワードが出てきました。クラスター、パンデミックなどをはじめ、私が思いついただけでも41個もありました。それだけ、人間社会に大きな爪痕を残していると言えます。残念ながら、収束まで数年かかるという学者もいます。その間ずっと穴倉生活を続ける訳にはいきません。感染防止を図りつつ、そろそろ新しい生活様式・Withコロナにチャレンジしてみてもよい頃合いかなと思ってる今日この頃です。

④ (白石 崇) コロナウイルスが、中国武漢で認知されてから、早9ヶ月が経った。その間日退協はもちろん他の3~4の団体の行事、懇親会等はほとんど中止となった。趣味を持たない私の生活は巣籠もり(TV、読書他)、散歩、家での飲酒の毎日であった。これだけ長い期間となると、流石にストレスも溜まり、頻脈発作が時々発生して気分が悪い。話が暗いのでやめよう！最近、感染対策に努力しながらwithコロナで生活するしかないと思ってきた。だから、本日5時からの「坂戸会」懇親会に行ってきまーす！

⑤ (萩埜 孝) コロナ禍で3月以降生活様式が大きく変わりました。殆どの飲み会、イベント、打合せ会や会議等は中止となり外出がめっきり少なくなった。反面、学校・幼稚園が休みで孫と過ごす時間がが多くなり樂しみもありました。

人と会う機会が減りましたが、月2回程度のゴルフだけは3蜜に十分注意し仲間と楽しんでいます。

これからも3蜜を避け、マスク・消毒を欠かせない日々が続きますが、このような時期だからこそ人の出会いをより大切にしたいと思います。

⑥ (成井正浩) 「目は口ほどに…」

スーパー・電車内・職場とマスク顔が日常になって、ふと気付いたことがあります。この人、笑い声を上げてるけど、眼が全然笑っていない。逆に、この人こんなに優しい眼差しの人だったっけ。眼だけが情報元になったので、口以上にその人の内面が現れるのだと思いました。そこで私も、今までほとんど注意して見たことがなかった洗面の鏡に向かって、お前、眼がきついぞと自戒している毎日です。マスク不要になった時に、いつもにこやかなステキなおじいさん、と呼ばれる日が来るよう。

発行者 公益社団法人 日本産業退職者協会・埼玉会

事務局 畠山 忠昭

事務局 〒332-0031 川口市青木1-22-17-902

TEL&FAX 048-259-5917

e-mail jarp_saitama@yahoo.co.jp